

PC建協第11回定時総会を
開催

令和5年5月18日に東京都千代田区のホテルグランドアーク半蔵門で第11回定時総会を開催しました。

当日の記者発表では、「Vision 2023 進化する技術と社会への貢献 PC建協の未来地図」、「令和4年度の受注状況と今後の見通し」、「発注機関との意見交換(令和5年度)の取り組み」について報告しました。



▲ 定時総会の模様

併せて、菊川滋日本道路協会会長を講師に迎えた「特別講演」及び「Vision2023説明会」を開催しました。

また、総会后、令和元年以来5年ぶりに懇親会を開催し、来賓に佐藤のぶあき参議院議員、石井啓一衆議院議員、井林たつり衆議院議員、国土交通省より吉岡幹夫技監をお迎えし、約200人にご出席いただき、会場は盛況となりました。



▲ 令和元年以来5年ぶりに開催した懇親会

発注者との意見交換会始まる

令和5年6月9日開催の国土交通省道路局との意見交換会を皮切りに、各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局、高速道路(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構との意見交換会が始まりました。

8月末までに、沖縄総合事務局、北陸地方整備局、北海道開発局、中国地方整備局、九州地方整備局との意見交換会が終了しました。

《PC建協からの提案》

1 年度工事量の安定的な確保
① 年度工事量の安定的・持続的な確保

② 次世代に夢をつなげる新規プロジェクトの創生

2 働き方改革の推進

① 総労働時間の削減

② 技能労働者の処遇改善

3 生産性向上の推進

① プレキャスト化の推進

② カーボンニュートラル実現に向けたCO₂削減効果の高いプレキャスト部材の利用推進

③ BIM/CIM活用の推進

④ PC橋の長期保全の推進

4 PC橋補修工事における技術提案・交渉方式の更なる発注要請(ECI方式の推進)

② 地方自治体支援要請(国土交通省の直轄診断・修繕代行業務の更なる推奨)

5 PC建築(PCaPC造の建築)の推進

① 庁舎計画にPCaPC造を推進
② 防災施設(津波避難ビル、人工地盤、避難タワー等)にPCaPC造を推進

功労表彰・学会賞受賞

● 令和5年度土木学会賞 業績部門 菅野昇孝氏 田中賞



菅野 昇孝氏

(株)富士ビー・エス取締役会長。コンクリート橋梁・複合橋梁における建設技術および更新技術の開発と発展への貢献に対し本賞が授与されました。菅野氏は平成27年にPC建協副会長就任以来、PC建協副会長を2年、理事4年を歴任し、令和4年から顧問として務めていただいております。

第30回PC建築技術講習会を開催

「第30回PC建築技術講習会」が、令和5年7月14日に東京会場での対面形式とオンライン形式の併用開催及びオンデマンド配信で開催されました。参加者は、事前登録制で700人の登録がありました。各講習の演題（建築物）と講師は次のとおりです。

- (1) 「土管のゲストハウス」
『PCaボックスカルバートによる居住空間の創出』
（栃北條建築構造研究所 多田卓二 庁舎）
- (2) 「西都市庁舎」
『吹抜けを囲むコンパクトな風車型庁舎』
（株式会社設計柳井健太、伊藤淳 庁舎）
- (3) 「長崎市新庁舎」
『RC柱梁+木質耐震壁により意匠・構造・設備を統合したファサードデザイン』
（山下設計 大塚直 小俣慶太 庁舎）
- (4) 【特別講演】「E-アイソレーション」
日本初の実大動的免震・制震部材実験施設の建設
『水平移動可能なPCアンカーが実現した新しい反力計測システム』
東京工業大学 建築学系 教授・博士 竹内徹

第13回PC建協業務報告会を開催

令和5年7月20日にホテルグランドアーク半蔵門で「第13回PC建協業務報告会」を開催しました。今回は約100人が参加しました。

委員会からの発表及び支部の活動報告をパネル展示しました。当日の発表は次のとおりです。

- ① 塩害環境下に20年以上暴露したPC用コンクリートの塩分浸透抵抗性の評価
- ② 沖縄県におけるフライアッシュを用いたコンクリートのポストテンション



▲業務報告会の模様

PC橋への適用化に関する基礎的研究

- ③ 道路橋の性能評価技術に関する共同研究の報告
- ④ JIS設計・製造便覧（PCコンポ橋用セグメントおよびPC板）の発行について
- ⑤ アラミド繊維体をコアとする緊張防護板の安全性検証実験の報告
- ⑥ 「PC構造物補修・補強事例集」の中間報告
- ⑦ 保全補修にかかわる「技術相談」の傾向分析と対応報告
- ⑧ 施工管理に役立つPC建築工事の「Q&A」の改定について

その後、寺沢直樹国土交通省道路局環境安全・防災課道路防災対策室長による「道路防災対策の最近の話題〜関東大震災から100年〜」と題した特別講演をいただきました。

PC建協書籍の紹介

PC建協は、コンクリート橋をさらに長期的に保全し、将来の社会生活を支え続けることに貢献していくために、現行基準との整合を図り、また最新の知見を反映した内容に書籍を改訂しています。

8月発行

プレストレストコンクリート構造物の補修の手引き（外ケーブル工法・外ケーブル補強工法）

●平成19年4月発行の改訂版
〔改訂方針〕

●現行基準との整合を図り、性能規定による設計手法の考えを取り込む

●実務者の要望を反映するとともに、最新知見や有益な技術情報を掲載する

●道路橋示方書・同解説（平成29年）に準拠した設計計算例を例示



各地でPC技術講習会を開催

PC技術に関する講習会が各地で開催されました。

(中国支部)

令和5年6月16日に広島市中区の広島県自治総合研修センターでの「令和5年度土木技術職員研修 中級II講座(設計技術)」の中で、県職員43人を対象にPC橋の設計の留意点と架設工法をテーマにPC構造の概論、プレキャストの架設工法などを講義しました。

(九州支部)

令和5年6月30日に宮崎県宮崎市の宮崎県建設技術センターでの「令和5年度橋梁維持管理研修」の中で、自治体職員22人を含む計97人を対象にコンクリート橋の上部工の劣化事例と補修・補強に関する講習をオンライン形式の併用で行いました。

その他

- アピオ青森 令和5年度第1回青森県橋梁アセットマネジメント担当者会議 35人
- オンライン形式 山形県建設技術基礎研修 65人
- オンライン形式 福島県土木専門研修会 33人

- 埼玉会館 橋梁メンテナンス技術研修会(令和5年度第1回) 70人

PC技術専門家を派遣

PC建協では多くの学生にPC構造に興味を持ってもらうことを目的にPC技術専門家派遣事業を展開しています。

(関東支部)

令和5年7月27日に信州大学工学部水環境・土木工学科の3年生40人を対象に「PC橋について」と題した授業を行いました。当日はPC橋の概要と建設方法とPC業界の様子について説明しました。

(北陸支部)

令和5年7月18日に長岡技術科学大学環境社会基盤工学課程の3年生57人を対象に「PC橋の概要」と題した授業を行いました。当日はPC建協の概要、PCa PCやPC構造物を紹介し、Uコンポ橋の模型を用いてPC橋の仕組みを説明しました。

(関西支部)

令和5年6月13日に明石工業高等専門学校都市システム工学科の3年



▲明石工業高等専門学校での緊張実演の様様

生44人を対象に「PC特別講義」と題した授業を行いました。当日はPC建協の組織と活動について、またPCの原理、構造、歴史、工法を説明しました。最後に神鋼鋼線工業(株)による緊張実演を実施しました。

その他、令和5年4月以降に実施されたPC技術専門家の派遣講義は次のとおりです。

開催日	支部名	学校名	開催日	支部名	学校名
6月27日	関東	長野工業高等専門学校	4月10日	関東	芝浦工業大学工学部
6月27日	北陸	金沢大学理工学域	5月23日	北陸	福井工業大学工学部
6月30日	北陸	福井大学工学部	5月29日	中国	広島工業大学工学部
7月3日、10日	九州	佐賀大学理工学部	5月30日、7月21日、24日、25日	関東	日本大学生産工学部
7月4日	関東	国土舘大学理工学部	6月1日	関西	神戸大学工学部
7月10日	九州	宮崎大学工学教育研究部	6月1日	中国	岡山大学工学部
7月14日	関東	東京電機大学理工学部	6月8日	北陸	富山大学都市デザイン学部
7月19日、26日	関東	東洋大学理工学部	6月21日、28日	九州	九州大学大学院工学研究院
7月20日	関東	東海大学建築都市学部	6月22日	関東	東京都市大学建築都市デザイン学部
7月24日	九州	九州工業大学工学研究院	6月23日	北陸	金沢工業大学工学部
7月24日	九州	琉球大学工学部	6月27日	関東	足利大学工学部

現場見学会を開催

PC建協支部が主催する現場見学会が開催されました。

(中部支部)

令和5年6月21日に岐阜市の東海環状自動車道中西郷高架橋西PC上部工事の工事現場で、名古屋大学工学部環境土木・建築学科の2年生35人を対象に現場見学会を中部地方整備局と共催しました。

本橋は橋長190mのPC6径間連結コンボ橋(株)IHIインフラ建設)です。見学会では学生から多くの質問を受けました。

(東北支部) 令和5年度EE東北'23に出展

建設事業の新材料や新工法などの展示会「EE東北'23」が令和5年6月7日と8日の2日間にわたり、仙台市のみやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」で開催されました。今回もPC建協東北支部は「生産性向上に寄与するプレキャスト技術」と題してブース出展しました。

全国から開通情報

(東北支部)

成瀬ダム付替国道342号
全線開通

令和5年4月29日に秋田県の成瀬ダム付替国道342号(総延長5.3km)が全線開通しました。この付替工事は東成瀬村での成瀬ダム建設により、一部区間が水没するため行われたものです。

成瀬村の狐狼化山トンネル付近で催された開通式には自治体関係者など約70人が出席し、テープカットなどで開通を祝いました。



▲ 赤滝大橋

第32回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム開催のお知らせ

(公社)プレストレストコンクリート工学会は「第32回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」を令和5年10月26日と27日の2日間、福島県郡山市のビッグパレットふくしま(福島県産業交流館)で開催します。

本シンポジウムは学術・技術に関する価値ある情報を講演者と参加者が共有し、PC技術をさらに発展させることを目的としています。

詳細は(公社)プレストレストコンクリート工学会ホームページをご覧ください。
<https://www.jpcci.or.jp/>



▶シンポジウムポスター
グランプリ賞 北海道教育大学 小林礼奈氏デザイン

編集委員会

柳橋 則夫(編集委員長)、石井 一生(副委員長)、
吉山 誠之(副委員長)、湯山 芳夫、照井 満、鈴木 裕二、
八木橋 浩隆、大塚 俊介、牧 哲史、太野垣 泰博

編集幹事会

荒畑 智志(幹事長)、小谷 仁(副幹事長)、瀬戸 裕一郎(副幹事長)、
阪田 憲一、青木 隆昌、河野 雅弘、栗川 修、喜多 俊介、木村 良輔、浅野 真人、
勝野 源基、中田 清博、苅部 秀次、新倉 港人、武内 涼太郎、坂田 貴俊

編集後記

関東大震災から100年のタイミングで、今回特別企画として東京工業大学川島教授、近畿大学阿波野教授、長岡技術科学大学下村教授にインタビューをさせて頂きました。各教授の方々からお話を身近で聞くことができとても勉強になりました。若い技術者、PC営業に関わる方々が利点をうまくクライアントに伝えていきPC業界の未来の発展へとつながっていければ幸いです。またインタビューの際に近畿大学へと伺わせて頂きました。出身大学ではありませんが、キャンパス内に入らせて頂き今の学生のキャンパスライフを拝見でき若いエキスをもらえたような気がします。

協力して頂いた教授の先生方、関わって頂いた関係者各位の皆さまには感謝致します。

今号では森会長に新ビジョンの意義とPC建協の未来についてもインタビューさせて頂きました。1月号と5月号でも引き続きVision2023についての特別企画を予定しておりますので楽しみにしてください。

また「PCのニューフェイスたち」では令和4年度に誕生した15作品を紹介しております。本号を通じてPC技術、PC構造物の素晴らしさを感じて頂けると嬉しいです。

(青木)